

動物慰霊祭挙行

動物愛護週間に合わせて毎年実施されている動物慰霊祭が、9月25日(木)午後から動物慰霊碑前において、医学部、歯学部、熱帯医学研究所などの関係者約100人が出席して挙行されました。

参加者全員により黙祷が行われた後、佐藤先導生命科学研究支援センター長から「生命科学研究・教育を推進していく上で不可欠な前臨床的研究など



参加者全員による黙祷

実験的研究が、動物の犠牲の上に成り立っていることを今改めて心に刻み、高い倫理感と動物愛護の精神に則り、可能な限り苦痛がないように努め、動物に対する深い感謝の念を持って研究を遂行していかねばならない」と、また利用者代表として大学院医学研究科4年生の山口尚宏さんから慰霊の辞が述べられ、引き続き、動物慰霊碑に献花が行われました。

また、当日、慶応義塾大学の前島一淑名誉教授による「生命科学研究における実験動物福祉と研究者の社会的・倫理的責任」と題するセミナーがボンペ会館で行われました。



慰霊の辞を述べる佐藤先導生命科学研究支援センター長

(医学部)

研究推進フォーラム開催

大学院医歯薬学総合研究科は、9月27日(土)午前10時から医学部第1講義室において、同研究科に置く研究推進委員会の主催による研究推進フォーラムを開催しました。

フォーラムは、「法人化と研究推進のあり方」と題して齋藤学長の基調講演に始まり、採択済みのCOEプログラムの拠点リーダーである朝長教授、

青木教授の講演、そして研究推進委員会が現在進めている共同研究のテーマの中から3テーマの責任者である篠原教授、大園教授、甲斐教授の講演が行われ、学内外からの約100名の参加者は熱心に耳を傾けていました。

続いて、全体討議では、2つのCOEプログラムに続く国際レベルの先進的なプログラムの立ち上げ、萌芽的研究の発掘と研究者の養成、地域社会への貢献と国際性の両立などをテーマに活発な意見交換がなされ、盛会のうちに終了しました。



齋藤学長の講演風景

(大学院医歯薬学総合研究科)